

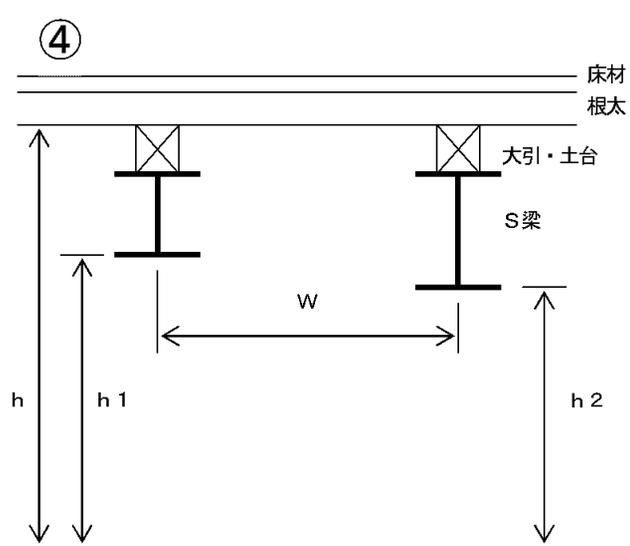
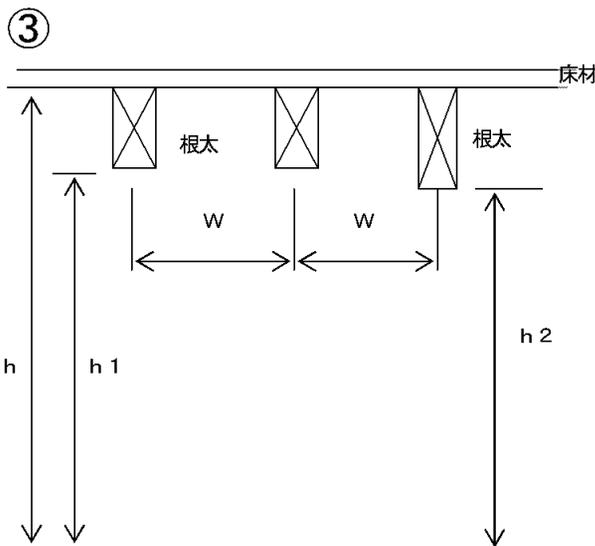
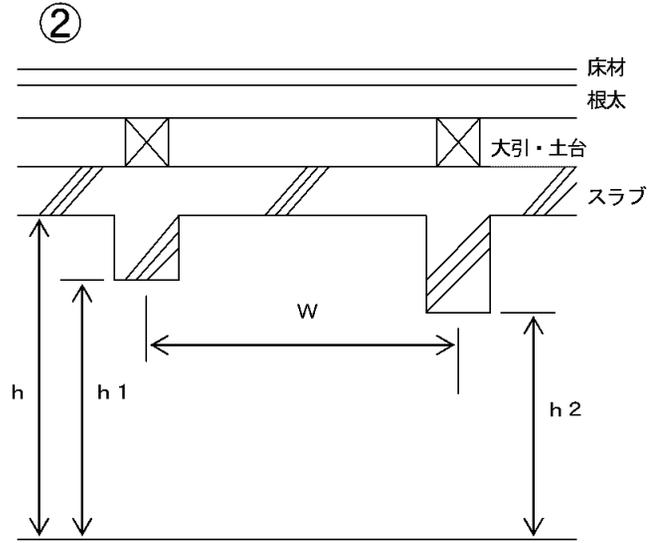
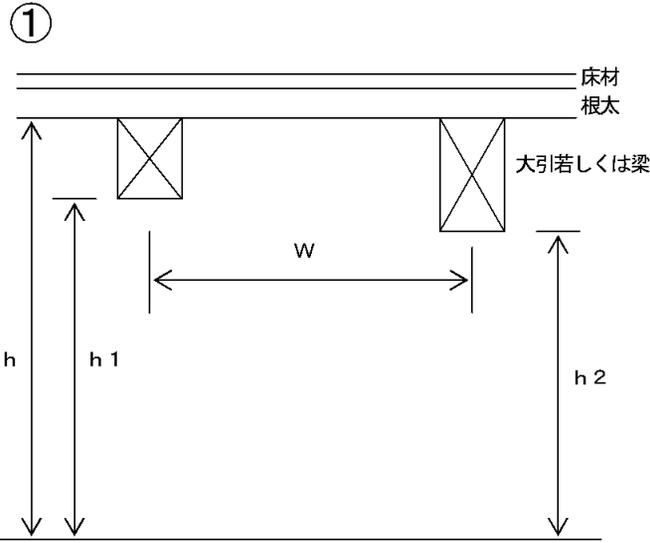
# 別図（第2の6(1)） 床下部分の高さの算定方法

- 床面から根太を受ける部材（大引き若しくは梁又はこれらを受ける部材）の下端までの高さとする。
- 最高の高さによる。
- 床下部分に天井を設けた場合においても、構造部材の位置により高さを算定する。

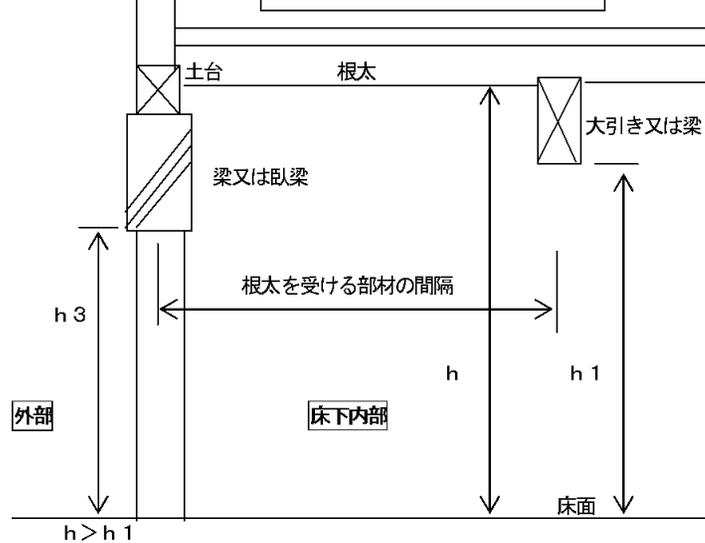
## 凡例 高さは、各図共通

$h > h_1 > h_2$   
 $W \leq 2m$  のとき  $h_1 \leq$  床下部分の高さの限度=1.8m又は知事が指定した垂直積雪量  
 $W > 2m$  のとき  $h \leq$  床下部分の高さの限度=1.8m又は知事が指定した垂直積雪量

床下部分の外周部（外壁に相当する部分）については、床下部分の高さの算定において、対象としない。外周部は、高さの限度を超えることができる。



## 一般図



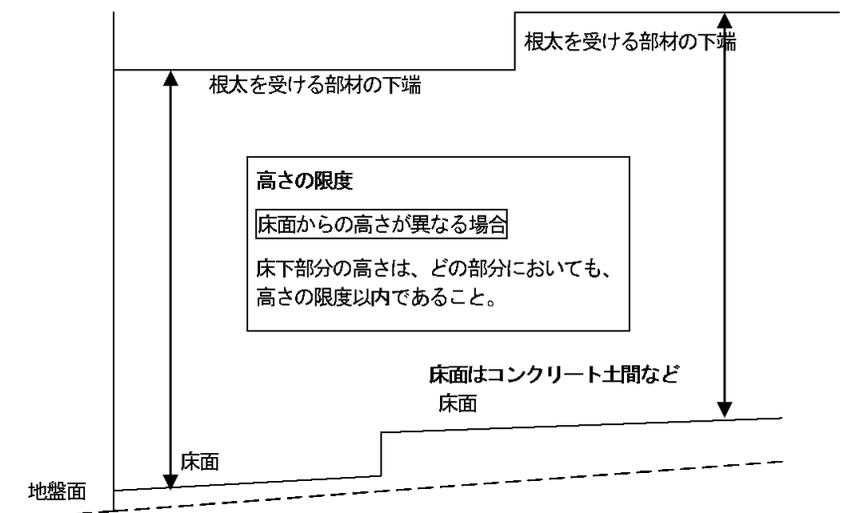
根太を受ける部材の間隔が  
 2m 以内の場合は  $h_1$  により、  
 2m を超える場合は  $h$  による。

外部

床下内部

$h_3$  は、床下部分の外周部であることから、床下部分の高さの算定において、対象としない。高さの限度を超えることができる。

## 床下部分の高さの限度



高さの限度  
 床面からの高さが異なる場合  
 床下部分の高さは、どの部分においても、高さの限度以内であること。

床面はコンクリート土間など  
床面

地盤面